

平成28年度 社会福祉法人聖家族の園 事業計画

基本方針

前年度に地域づくりセンター『モク・オハナ』の開設と『ながいずみホーム』の入所増床工事は完了し、28年度は新しいスタートラインに立ったところである。

気持ちも新たに、今までの体制・業務内容等の見直しや新たな取り組みが必要不可欠となり、経営・財務面の徹底した管理もしていかなければならない状況である。

特養の増床については、個室および定員増という初めての環境の中、職員の進化とも相まって法人自身の変化・変革のタイミングであると考え。そして介護力基盤の充実と地域における安心感を保障し続けていく。

モク・オハナと希望のわだち柿田については、地域を巻き込んでの地域生活支援力（コミュニティワーク）の強化をさらに推し進め、『地域拠点』としての機能・役割を飛躍させ『居場所』づくりに取り組む。

28年度のキーワードは『リボーン(再生)』と『ポテンシャル(潜在能力)』とする。

重点施策・目標

1. 利用者の視点（顧客・地域に対してどのように行動すべきか）

- 環境及び体制の変更に伴い、入所者の生活の質の向上を目指す（看取りも含め）【特養入所】
- 他在宅サービスとの連携強化と、リピート率向上のための体制・環境整備【短期入所】
- 幅広い選択肢（社会資源）による包括的なサービス提供力の基盤整備【モク・オハナ、柿田】
- 地域に足りないあるいは必要とされる介護保険外サービスの検討・導入【法人全体】

2. 業務プロセスの視点（業務プロセスをどう改善していくか）

- 効率的かつ効果的な業務内容・職員配置体制の検討と改善（ムリ・ムダ・ムラの削減）

3. 人財組織の視点（組織や個人として、どのように変化し能力向上を図るか）

- マネジメント人財（役職者）の育成、組織力の向上
- キャリアパスシステムの充実（期待人財像、人事評価制度 = 人財育成支援制度）

4. 財務の視点（業績として財務的に成功するために、どのように行動すべきか）

- 経営改善計画の進捗状況及び予算執行状況の徹底管理（外部機関との定期的な実施）